

●村川家文書42

朝鮮^{〔威徳〕} ■ あんひじやん此方より相尋候覚

一 去年竹嶋へ参候ニ付重^而不^レ参様ニ当地舟頭共

■々念を入申聞■遣道具^モ失不^レ申様ニ

前之通^ニ小屋へ入置申候様ニ申付候へハ重^而中々

参間敷由其節之通辞申之亦当春何とて参候哉

あんびしゃん返答

一 竹嶋と申所朝鮮にて聞及申候、此度参着申候

三界之しやくワんより咆取候様ニと被仰付候^ニ而ハ

無之候、銘々商売ニ咆めのは取^ニ参申候、去年

竹嶋へ参候忒人之もの私共へ参候様ニと申由^ニ付

竹嶋へ参咆めのは取申候、朝鮮之内うるさんと

申所^ニ船指上申候

又此方より之問

一 隠岐国にてハ三界之しやくワんより咆ヲ取上ケ様ニと

被仰付由隠州にて之口上書^ニ有之候こと相尋候所^ニ

銘々商売之ため^ニ参由申候段相違如何

あんひしゃん返答

一 隠岐国^ニ而左様^ニハ不^レ申上候若御聞違も可有御

座候、拾人乗候舟子ノ内之名も隠岐国^ニ而御聞候

と只今申上候とハ相違申候名御座候

右^者此方と通辞問答之趣に御座候、以上

元禄六年

西四月廿八日

【裏】

元禄六年 西五月■日 大谷九右衛門殿